

**RAVPower**  
www.ravpower.com

RP-WD009\_V1.5  
01-11-2020

**ASIA PACIFIC**

E-mail: support.jp@ravpower.com(JP)

JP Importer: 株式会社SUNVALLEY JAPAN

Address: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目18-6 PMO  
京橋東9F

**EUROPE**

E-mail:

support.uk@ravpower.com(UK)

support.de@ravpower.com(DE)

support.fr@ravpower.com(FR)

support.es@ravpower.com(ES)

support.it@ravpower.com(IT)

EU Importer: ZBT International Trading GmbH

Address: Halstenbeker Weg 98C, 25462 Rellingen, Deutschland

**NORTH AMERICA**

E-mail: support@ravpower.com(US)

support.ca@ravpower.com(CA)

Tel: 1-888-456-8468 (Monday-Friday: 9:00 – 17:00 PST)

**MANUFACTURER**

Manufacturer: Shenzhen NearbyExpress Technology  
Development Co.,Ltd.

Address: 333 Bulong Road, Shenzhen, China, 518129

Learn more about the EU Declaration of Conformity:

<https://www.ravpower.com/pages/user-manual>



MADE IN CHINA

# RAVPower

## Stay Powered



Model: RP-WD009

RAVPower FileHub Wireless Router  
User Guide

## CONTENTS

English ----- EN/01-EN/35

Deutsch ----- DE/01-DE/36

日本語 ----- JP/01-JP/35

# 目録

## 第1章: FileHubについて学ぶ

1.1 注意事項	JP/01
1.2 パッケージ内容	JP/02
1.3 機能	JP/03
1.4 製品図	JP/07
1.5 LED インジケータ	JP/08
1.6 ボタン操作	JP/09

## 第2章: 始める

2.1 電源のオン/オフ	JP/11
2.2 外付けストレージと接続する	JP/12
2.3 RP-WD009 WiFiと接続する	JP/13
2.4 FileHubへアクセスする	JP/15

## 第3章: ファイルハブとして使う

3.1 ワンキーバックアップ	JP/17
3.2 どこでもワイヤレスのストレージ	JP/19
3.3 アプリ内カメラで写真/動画を撮る (iOSアプリのみ)	JP/23

## 第4章: 旅行用ルーターとして使う

4.1 アクセスポイント (AP) モード	JP/25
4.2 ブリッジモード	JP/27

## 第5章: 設定

5.1 リセット設定	JP/30
5.2 ファームウェアアップグレード	JP/32
5.3 固定IP/動的IP/ PPPoE 設定	JP/33

## 第6章: 仕様

仕様	JP/34
----	-------

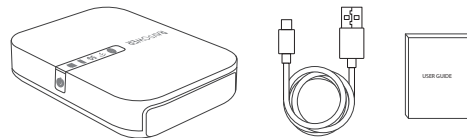
カスタマーサービス	JP/35
-----------	-------

## 1.1 注意事項

- 本製品は指定された電圧定格でのみ正しく動作します。それ以外の電圧をご使用の場合、本製品が破損する恐れがあります。
- 熱源から遠ざけてください。
- 電磁波干渉を避けるために電子機器(電子レンジなど)から遠ざけてください。
- 落下禁止：強い衝撃や振動を与えると、本製品が誤動作する恐れがあります。
- 雷や嵐が発生しているときは、本製品の電源を切断してください。
- 乾燥状態で保存：本製品は防水仕様ではありません。水に浸したり、湿気の多い環境に晒された場合、誤動作する恐れがあります。
- 充電ポートを清潔に保ってください。
- アイドル状態の時、周囲温度15°C～25°C(59°F～77°F、暑い場所や極端に寒い場所は避けてくださいの平らな場所に保管してください。少なくとも半年に一度充電してください。
- FileHubの充電中に本製品で他のデバイスを充電すれば、FileHubの内蔵バッテリーを損傷させる可能性があります。
- バッテリーが完全に放電しているときにFileHubを繰り返

- 返しオン/オフすると、バッテリーの寿命が短くなるので、完全に放電されたバッテリーは使用前に必ず充電してください。
- 本ユーザーガードでの操作と説明はご利用いただくデバイスやアプリのバージョン等によって違うところがあるので、予めご了承ください。

## 1.2 パッケージ内容



- 1 x Filehubワイヤレスルーター(モデル：RP-WD009)
- 1 x ユーザーガイド
- 1 x USB-C ケーブル

## 1.3 機能

### 1.3.1 Filehubとしての機能

#### ワイヤレスでのファイル共有--- 19ページ参照

- 挿入されたSDカードとUSBストレージから、FileHubに接続されているスマートフォン、タブレット、またはその他デバイスにファイルを共有します。
- Google ChromecastをFileHubに接続すると、スクリーンでChromecastを介して接続のUSBストレージ内の動画や音楽を再生できます。(画面が固まったのを避けるように、同時に3ユーザー以下での接続が推奨されます)

#### ワンキーバックアップ--- 17ページ参照

- ワンキーでSDカード内の写真を簡単にハードドライブ/フラッシュドライブにバックアップできます。

#### アプリ内カメラ(iOSアプリのみ)--- 23ページ参照

- アプリ内カメラを使用して、RAV FileHubアプリを介して直接SDカードに写真や動画を保存し、スマートフォン内のメモリを解放することができます。

**注意:** スマホがFileHubのWiFiネットワークに接続されていること、および伝送距離が10メートル未満であることをご確認ください。

### 1.3.2 WiFiルーターとしての機能

#### アクセスポイント (AP) モード--- 25ページ参照

APモードでは、FileHubは有線ネットワークへ接続され、他の機器はWiFi経由でFileHubへ接続する(または有線ネットワークへアクセス)可能です。

#### ブリッジモード--- 27ページ参照

複数のネットワーク接続にこれ以上お金をかける必要はありません - FileHubを使用して異なるネットワークを接続し、共有すればOKです。

#### 5Gネットワーク--- 13ページ参照

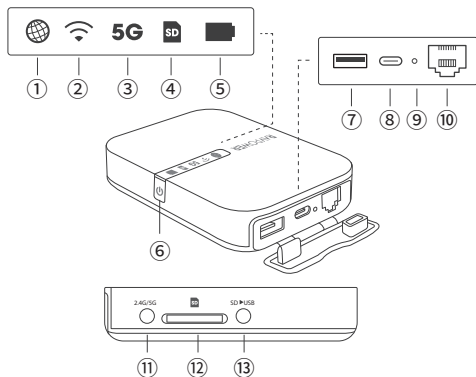
2.4GHz帯域で300MbpsのWi-Fi速度、5GHzで最大433Mbpsの速度にアップグレードします。FileHubを使用すると、有線ネットワークをワイヤレスに短時間で変換できます。またはWiFiネットワークをブリッジして拡張し、他のユーザーと安全にネットワークを共有することができます(ホットスポットとしてではありません)。

**注意:** イーサネットケーブルで接続する場合のみに、5GHzモードで5Gルーターと5G WiFiに対応します。ブリッジモードでは5Gモードがサポートしません。

### 1.3.3 モバイルバッテリーとしての機能

6700mAhの大容量で、大多数のスマートフォンを1〜2回フル充電できます。

## 1.4 製品図



- ① インターネットインジケータ
- ② Wi-Fiインジケータ
- ③ 5Gインジケータ
- ④ SDカードインジケータ
- ⑤ バッテリーインジケータ
- ⑥ 電源ボタン
- ⑦ USB-Aポート
- ⑧ USB-Cポート
- ⑨ リセットピンホール
- ⑩ RJ45 イーサネットポート
- ⑪ 2.4G/5Gボタン
- ⑫ SDカードスロット
- ⑬ SD to USB/バックアップ

## 1.5 LED インジケータ



LED	インジケータ	ステータス
🌐	白になる	インターネットに接続する
	オフになる	インターネットが切断される
📶	点滅	開始/起動中
	固まる	WiFiに接続
5G	オンになる	5G WiFiに接続
	オフになる	5G WiFiはオンになっていません
SD	白になる	SDカードが挿入されている
	白が点滅	SDカードを読み込んでいる/書き込んでいる
	赤になる	バックアップできない、またはエラーが発生
🔋	白になる	≥30%
	赤く点灯	< 30%
	赤くフラッシュ点滅	< 10%
	2秒ごとに点滅	充電
	0.5秒ごとに点滅	シャットダウン中

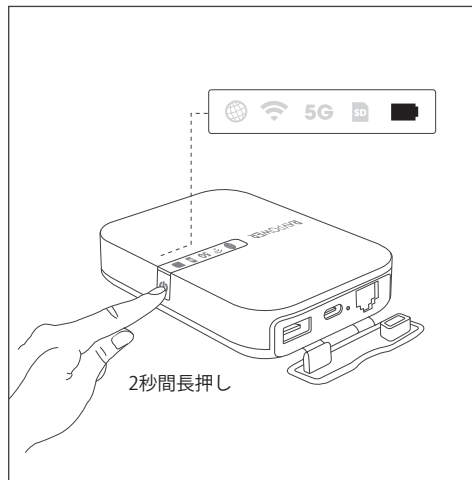
## 1.6 ボタン操作

電源ボタン	バッテリーインジケータが白で点滅するまで押すとFileHubがオン/オフになる
リセットピンホール	5-10秒間押し続けると、出荷時設定にリセットされる
モードボタン	3秒間押し続けると、WiFiモードが2.4GHz / 5GHz / 5GHz&2.4GHzの3モードに切り替わる
SDからUSBへのバックアップボタン	押すとSDカードからUSB HDD/SSDへのデータのコピーとバックアップを開始
SDカードスロット	2TB SDXCまでサポート
USB-Cポート	FileHubを充電する
USB-Aポート	USBフラッシュとHDD/SSDドライブのデータ転送をサポート (FAT32、exFAT、NTFS) 対応デバイスに1Aの出力電流を供給

## 2.1 電源のオン/オフ

### 2.1.1 パワーバンクとして使う


電源ボタン  を2秒間長押しすると、バッテリーインジケータ  が点灯し、スマートフォンの充電ができるようになります(緊急時の利用限定)。

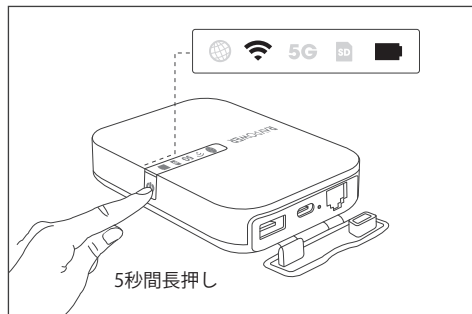





## 2.1 電源のオン/オフ

### 2.1.2 ファイルハブとして使う

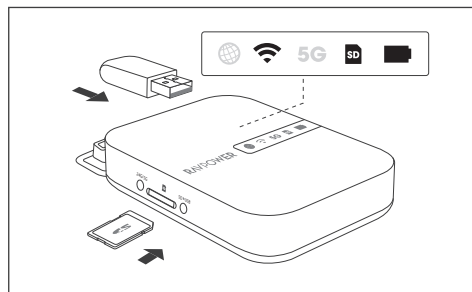
バッテリーインジケータがオフの状態で、**電源ボタン**を5秒長押しして、WiFiインジケータ  を点滅しなくなり、点灯する状態を確保してください。




**ご注意：**ワンキーバックアップまたはデータ転送は、**WiFi**  または **5Gインジケータ**  がオンの時のみご利用いただけます。

## 2.2 外付けストレージと接続する

USBドライブ、SDカード、またはUSB HDD/SSD（最大3TBのNTFS/exFAT/FAT32に対応）をFileHubのUSBポートに挿入します。




### ご注意：

- SDカードを正確に入れば、**SDカードインジケータ**  は白色になります。
- USBストレージについて、「RAV FileHub」というアプリで接続状態が確認できます。


## 2.3 RP-WD009 WiFiと接続する

### 2.4GHzモード

FileHubの電源が入っている状態で(WiFiインジケータ  が点灯)、ご利用のスマホをRP-WD009 WiFi ("RAV-FileHub-2G-XXXX")へ接続します。初期パスワード:11111111 (8桁)

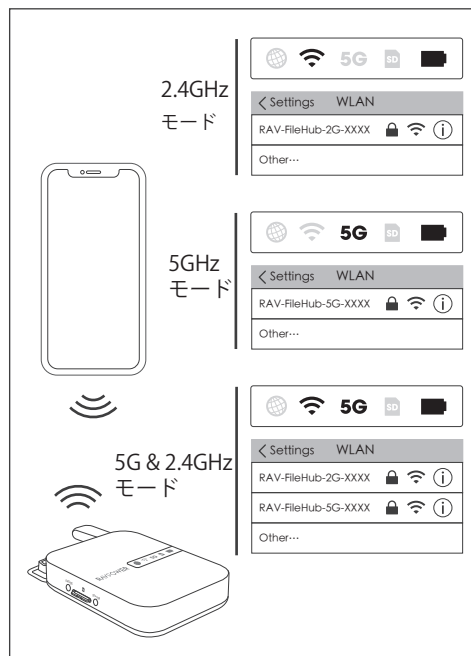
**ご注意：**高速ファイル転送または、4K動画の場合、5GHzモードへ変更することをお勧めします。

### 5GHzモード

FileHubの電源が入っている状態で(WiFiインジケータ  が点灯)、**2.4G/5G ボタン**を3秒間長押しすると**5Gインジケータ**が点灯します。その後、ご利用のスマホをRP-WD009 WiFi ("RAV-FileHub-5G-XXXX")へ接続します。初期パスワード:11111111 (8桁)。

#### 2.4GHz / 5GHzモードスイッチ:

**2.4G/5Gボタン**を3秒間長押しすると、2.4GHz / 5GHz / 5GHz & 2.4GHz WiFi のモードを循環します。



## 2.4 FileHubへアクセスする (2通り)

### “RAV FileHub” アプリ経由で使う

Apple App StoreまたはGoogle Playから“RAV FileHub”アプリをダウンロードします。あるいはRAVPowerウェブサイトからもダウンロード可能です「[www.ravpower.com](http://www.ravpower.com)」。



RAV FileHub

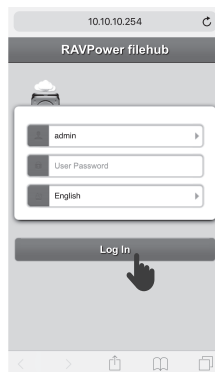


#### ご注意：

1. コンピューター用のアプリはありません。コンピューターからのアクセスは、ウェブサイト経由で可能です。
2. ウェブサイト上の機能はアプリの機能と同様ですが、以下の手順は、アプリのインターフェースのために作成されているものです。

### ウェブページ経由で使う

ウェブブラウザを開き、アドレスバーに10.10.10.254と入力します（確認を促すウィンドウが表示されたら、ユーザー名に「admin」と入力し、パスワードを空白のままにして、ログインをクリックします）。RAV FileHubインターフェースでは、セクション/フォルダ（エクスプローラ）でデータにアクセスしたり設定を変更したりできます。



#### ご注意：



1. 以下のウェブブラウザの使用が推奨されます：Chrome、Firefox、Edge、Safari。
2. 初めて接続に失敗した場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてからやり直してください。

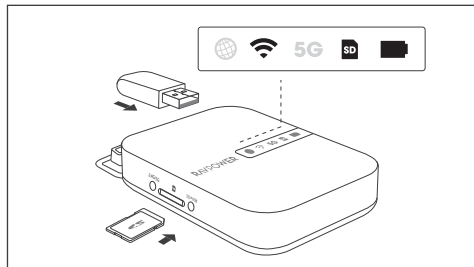
## 3.1 ワンキーバックアップ


### 3.1.1 機能紹介

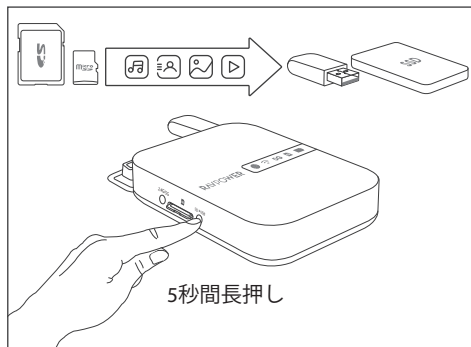
SDカードの写真をハードドライブまたはフラッシュドライブへ簡単にアップロード。


### 3.1.2 使い方

1. フラッシュドライブ/ハードドライブとSDカードを差し込みます。(12ページの2.2を参照)。
2. FileHubの電源を入れます。(11ページの2.1.2を参照)。
3. **WiFi インジケータ**  と **SDカードインジケータ**  が点滅しなくなり、点灯する状態に変わるまで待ってください。



4. **SDカードインジケータ**  が点滅し、FilehubがSDカードを読み取っていることを示すまで、**SD ▶ USBバックアップボタン**を約5秒間押し続けます。

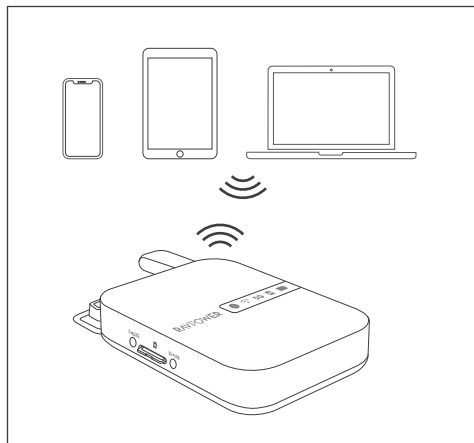


5. **SDカードのインジケータ**  が点滅しなくなるまで待つて、ワンキーバックアップが完了します。
6. アプリのRAV FileHub経由でフラッシュドライブ/ハードドライブに「SDバックアップ」のような名前のバックアップフォルダーを確認できます。



## 3.2 どこでもワイヤレスのストレージとして使用

### 3.2.1 機能紹介

接続されたUSBストレージのファイルを、FileHubに接続されたスマートフォン、タブレット、またはその他の機器と共有可能。



### 3.2.2 使い方

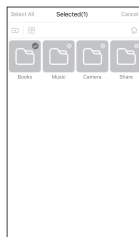
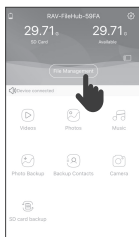
1. フラッシュドライブ/ハードドライブとSDカードを差し込みます。(12ページの2.2を参照)。
2. FileHubの電源を入れます。(11ページの2.1.2を参照)。
3. **WiFi インジケータ**  —または**SDカードインジケータ**  が点滅しなくなり、点灯する状態に変わるまで待ってください。
4. FileHubの電源が入っている状態で、ご利用のスマホをRP-WD009 WiFiへ接続します。(13ページの2.3を参照)。
5. RP-WD009 WiFiへ接続した後、“RAV FileHub”アプリを開くか、ご利用のブラウザのアドレスバーに10.10.10.254を入力して、アクセスします。

#### ご注意：

- ・高速ファイル転送または、5GHzモードへ変更することをお勧めします。
- ・以前、別の機器に接続されていた場合は、まず、「Settings」から「Logout」を実行し、再度接続し直してください。

### 3.2.3 アプリを利用したファイル管理

ファイル管理をタップしてUSBストレージ/SDカードにアクセスします。これにより、ドライブ/SDカード、モバイルストレージのファイルやフォルダを表示、コピー、移動、削除することができます。



#### ご注意：

1. 大容量のファイルやビデオの転送のためには、まずダウンロードを行ってください。処理スピードが遅い場合、5Gモードに変更し、再度行ってください。

2. Rav Filehubアプリは、一度に500のファイルを読み込み可能です。それ以上のファイルを読み込むためには、データを引き出してから行ってください。

### 3.2.4 よくあるご質問

**ご質問:**「RAV Filehub」アプリが、製品に接続後、USBストレージデバイスを見つかることができません。

**回答:** 1. FileHubの電源を切ります。

2. USBディスクを抜き、FileHubにもう一度差し込みます。

3. USBストレージを接続した状態で、FileHubの電源を入れます。

4. 10.10.10.254のルーター管理システムを介してUSBドライブのファイルにアクセスすることもできます。

### 3.2.5 よくあるご質問

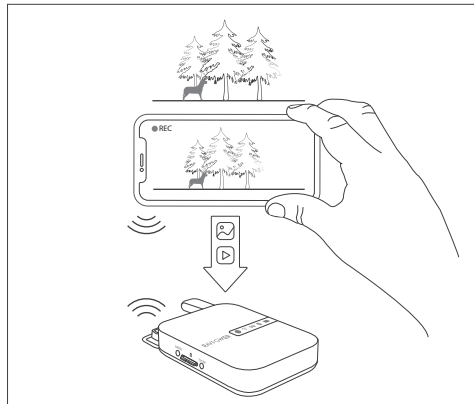
**ご質問:** HDDデバイスはFileHubが接続できません。

**回答:** FileHubのUSB-A出力は、最大5Vの1Aです。高電力消費ハードドライブは、外付けハードドライブドッキングステーションに設置して利用することをお勧めします。

## 3.3 アプリ内カメラで写真/動画を撮る(iOSアプリのみ)

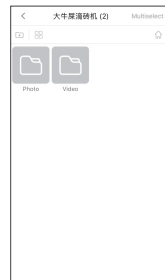
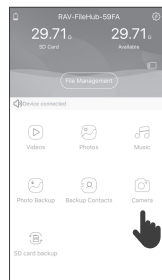
### 3.3.1 機能紹介

RAV FileHubアプリを利用し、アプリ内カメラで写真やビデオの撮影が可能です。データは自動的にSDカードに保存されます。**伝送距離が10メートル（32.8フィート）未満であることを確認してください。**



### 3.3.2 使い方

1. ホームページのカメラとキャプチャボタンをタップして写真や動画を撮影します。
2. 撮影した写真/動画を検索します：  
ファイル管理 > SDカード > カメラ > XXXのスマートフォン > 写真/動画。

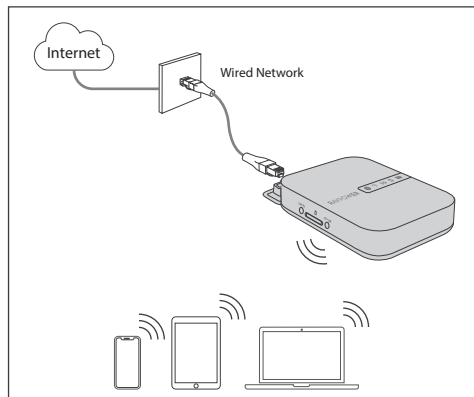


**ご注意：**高速ファイル転送または、5GHzモードへ変更することをお勧めします。

## 4.1 アクセスポイント (AP) モード

### 4.1.1 機能紹介

有線ネットワークをルーターに接続して、複数のデバイスに利用できるワイヤレスネットワークに変更します(特に一時的なネットワーク使用のため)。(ホテルのように適切に設定されたルーターに接続すると、FileHubは自動的にアクセスポイントになります。必要なのは下記のようなです。



### 4.1.2 使い方

1. FileHubの電源を入れる (11ページの2.1.2参照)。
2. ご利用の機器をRP-WD009 WiFiへ接続する (13ページの2.3参照)。
3. FileHubをルーターまたは既存の有線ネットワークへ接続する。
4. これでFileHubが有線ネットワークへ接続され、他の機器をWiFi接続経由でFileHubへ接続することが可能になります。

### 4.1.3 よくあるご質問

**ご質問:** SSID/パスワードの変更後、スマートフォンがFileHubに接続できません。

**回答:** スマートフォンで[設定] -> [WiFi]の順に選択し、接

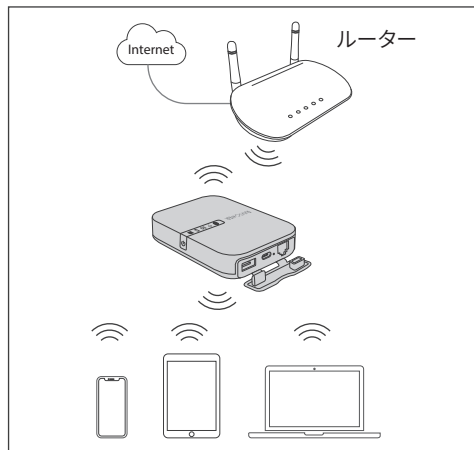
続されているWiFiをタップして[このネットワークを消去]をクリックして、もう一度接続します。それでも機能しない場合は、Filehubを出荷時設定にリセットします。




## 4.2 ブリッジモード

### 4.2.1 機能紹介

ブリッジモードでは、FileHubは、既存のワイヤレスネットワーク上でSSIDに基づいた新しいし、安全なWiFiを作成できます。ブリッジモードは5G WiFiネットワークではサポートされていません。



### 4.2.2 使い方

1. FileHubの電源を入れる（11ページの2.1.2参照）。
2. ご利用の機器をRP-WD009 WiFiへ接続する（13ページの2.3参照）。
3. RAV FileHubというアプリまたはWebページを介してFileHubにアクセスします（15ページの2.4を参照）。
4. これでFileHubが有線ネットワークへ接続され、他の機器をWiFi接続経由でFileHubへ接続することが可能になります。
5. インターネットインジケーター  が点灯する状態まで待ってください
6. デバイスがRP-WD009 WiFiに正常に接続されていることを確認して下さい。

### 4.2.3 よくあるご質問

**ご質問:**ブリッジモードではネットワークのスピードは落ちますか？

**回答:**ブリッジモードでは、WiFiスピードは、APモードの50%になります。それぞれのパケットが2度送信されなければなりません（クライアントからFileHubへ、そしてFileHubからWiFiルーターへ）。これは業界のスタンダードであり、ほとんどのルータのブリッジモードで同様です。

## 4.2 ブリッジモード

### 4.2.4 よくあるご質問

接続時にSSIDとパスワードが必要なWi-Fiを利用される場合は、下記手順で設定してください。

1. 接続したいWi-FiのSSIDとパスワードを確認します。
2. スマートフォンをFileHubにWi-Fiで接続します。
3. ブラウザのアドレスバーに10.10.10.254と入力し、言語表示を日本語を選択してログインします。
4. [設定]>[ネットワーク設定]>[インターネット]>[無線モード]を選択し、接続したいSSIDを選択後、[再検索]をタップします。パスワードを空欄にして[適用]をタップします。
5. ブラウザで別のページを開くと認証ページが表示されますので、1で確認したユーザー名(SSID)とパスワードを入力しログインします。

#### ご注意：

うまく接続できない場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてから再度設定をお試しください。

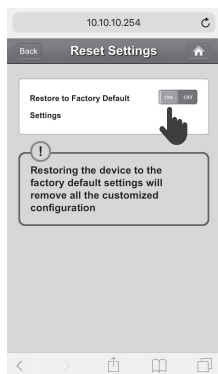
## 5.1 リセット設定 (2通り)

### リセットピンホールでリセットを行う：

1. FileHubの電源を入れる (11ページの2.1.2参照)。
2. リセットピンホールを細いピンや楊枝を使って、10秒間長押しします。
3. 機器が再起動するまで待ちます。

### ウェブサイトからリセットを行う：

1. FileHubの電源を入れる (11ページの2.1.2参照)。
2. ご利用の機器をRP-WD009 WiFiへ接続する (13ページの2.3参照)。
3. 設定(Settings)> システム(System)> リセット設定を開き、ルーターの管理者システム (10.10.10.254) にある「工場出荷時状態へ復元」を探します。
4. ON/OFFボタンをオンにすると、リセットがスタートします。
5. FilehubのWiFiインジケータが数秒間青く点滅し、機器の再起動が終了すると青い光が点灯に変わります。



**ご注意：**Filehubをリセットすると、出荷時の設定に戻すこととなります。Filehubに設定した名前やスマートフォンとの接続など、以前に設定したすべてのデータがリセットされます。

## 5.2 ファームウェアアップグレード

利用可能なアップデートがある場合は、ファームウェアのアップグレードを選択できます。

1. RAVPowerウェブサイト「[www.ravpower.com](http://www.ravpower.com)」から最新のソフトウェアとファームウェアをダウンロードしてください。モバイルデバイスまたはラップトップにファームウェアファイルを配置します。
2. FileHubにUSBサムドライブまたはSDカードを差し込みます（12ページの2.2を参照）。
3. Filehubの電源を入れます（11ページの2.1.2を参照）。
4. FileHubがオンになったら、スマホでRP-WD009 WiFiに接続します（13ページの2.3を参照）。
5. RAV FileHubというアプリまたはWebページを介してFileHubにアクセスします（15ページの2.4を参照）。
6. [設定] > [システム] > [ファームウェアアップグレード] > [iPhoneまたはノートPCからファームウェアを選択] > [保存] > [完了]をクリックし、再起動します。

### 5.3 固定IP/動的IP/ PPPoE 設定

ルーターなしでDSLまたはケーブルモデムを使用する場合、どのように機能しますか？

**固定IP**：TCP/IP設定に移動し、IPアドレスとDNS設定を指定する必要があります。

**動的IP**：IPアドレスまたはDNS設定は必要ありません。

**PPPoE**：ISPによって割り当てられたユーザー名とパスワードを指定する必要があります。

**ご注意**：固定IP/動的IP/ PPPoEの詳細な設定については、ウェブサイト[www.ravpower.com](http://www.ravpower.com)の詳細なユーザーガイドを参照してください。

### 仕様

モデル	RP-WD009
入力	DC 5V $\pm$ 2A
Wi-Fiスピード	733Mbps (300Mbps @ 2.4GHZ、433Mbps @ 5GHz)
規格	IEEE 802.11ac / 802.11n
周波数帯域	2.4GHz / 5GHz
バッテリー容量	6700 mAhリチウムイオン
再生時間	2.4G : 8.4時間 5G : 6時間
温度・湿度	作動：5°C~40°C (41°F~104°F) / 5%~90%RH (非結露状態) 保存：0°C~60°C (32°F~140°F) / 5%~90%RH (非結露状態)
寸法	113 x 76 x 25 mm / 4.4 x 3.0 x 1.0 in
重量	199.4 g / 7.0 oz

## カスタマーサービス

詳細につきましては、[www.ravpower.com](http://www.ravpower.com)をご覧ください。またはウェブサイトから最新のユーザーガイドとファームウェアをダウンロードください。

ご不明な点がございましたら、Eメールでお問い合わせください。当社製品につきましてご質問、問題がございましたら、いつでもお問い合わせください。全力で対応いたします。

### FCC Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

### FCC Compliance:

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:  
(1) This device may not cause harmful interference, and  
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Warning: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential

installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



#### WEEE Compliance

Correct Disposal of This Product (Waste Electrical & Electronic Equipment) (Applicable in countries with separate collection systems) This marking on the product, accessories or literature indicates that the product and its electronic accessories should not be disposed of with other household waste at the end of their working life. To prevent possible harm to the environment or human health from uncontrolled waste disposal, please separate these items from other types of waste and recycle them responsibly to promote the sustainable reuse of material resources. Household users should contact either the retailer where they purchased this product, or their local government office, for details of where and how they can take these items for environmentally safe recycling. Business users should contact their supplier and check the terms and conditions of the purchase contract. This product and its electronic accessories should not be mixed with other commercial wastes for disposal.

